

# http://nakayashiki.net/ **がんばろう日本! 負けなめで東北!**



2月28日 2月定例会一般質問に登壇

**卯月に思う**

2月20日から3月27日までの長丁場だった2月定例会、私にとつては長さ以上に非常に密度の濃い議会でした。ルーティンワークにプラスして2月末の一般質問登壇、今議会に組織された、地域保健医療計画特別委員会への参画、そして平成30年度の予算を審査する予算特別委員会への参画と目まぐるしくも充実した議会を過ごせました。のも、日ごろから激励・応援いただいている地元の皆様のおかげと心から感謝しています。

しかし、年度を重ねた寄る年波のせいなのか、忙しさゆえなのか、過行

## チャレンジ通信

### 埼玉県議会自由民主党議員団

# なかやしき 慎一



討議資料

発行者 埼玉県議会議員 中屋敷 慎一  
〒365-0039 鴻巣市東3-11-18-103号  
TEL 048-541-8110 FAX048-541-0256



く日々の速さに驚きを禁じ得ない今日この頃です。来年の今頃は統一地方選挙も終わっている頃かと思えば、この先の一年間は今までにも増して、しっかりと過ごしていかなければと決意を新たにしたところです。

30年度の役職などは別頁でお知らせしたとおりですが、中でも、県監査委員については、県行政の予算が正しく執行されているか否かを、「虫の目」「鳥の目」「魚の目」の感覚を持って、しっかりと監査させていただきます。国の様子を見てみると、新年度予算は成立したものの、相変わらずの森友学園、加計学園問題や自衛隊の日報問題と騒がしさが続いています。北朝鮮や中国を始めとする近隣諸国の状況を見てみると、そうした問題に終始するだけでなく、地に足をつけて外交・防衛に取り組まないと、日本だけが蚊帳の外になってしまうのではないかと、本心に心配になってしまいます。国会議員の皆さん何卒よろしくお願ひします。



**鴻巣東小学校 「大けや」樹勢回復工事**

私の母校でもある東小の戸ヶ崎PTA会長から、学校のシンボル「大けや」の樹勢回復に取り組みたいとのご相談、支援メニューを探すもなかなか該当せず大変でしたが、公益財団法人 埼玉県緑化推進委員会の補助制度が該当しそうだと、戸ヶ崎会長にも同行いただいたり、提出書類の作成の労を取っていただいたりして事業実施に至りました。「大けや」しばらくは大丈夫だそうです。

## 2月定例会 主な内容

2月定例会(2月20日開会)は、1兆8,657億6,000万円に上る平成30年度一般会計当初予算等をはじめ、我々自民党県議団が提案した「埼玉県犯罪被害者等支援条例」、「埼玉県主要農作物種子条例」や「埼玉県民栄誉章等について議会の議決事件と定める条例」などを議決し、3月27日に閉会しました。

自民党県議団は昨年秋、地域経済の活性化と県民の安心・安全の実現に向けた政策を今まで以上に積極的に推進するべきだとして、「生産性革命」と「人づくり革命」の推進、二つを柱にした政策大綱を県に示してき

ました。平成30年度予算は、その提言が反映された予算(施策)内容となっています。

私たち自民党県議団は激動する時代の潮流を的確に見定め、生産性の向上や人材への投資などによる大きな社会変革の波を埼玉県から発していけるよう、様々な施策を今後も提案して参ります。

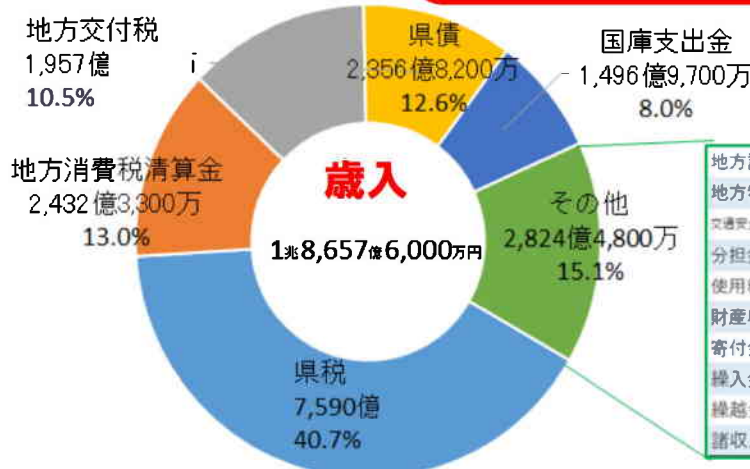
**1兆8,657億6,000万円**

(前年度比+0.1%)

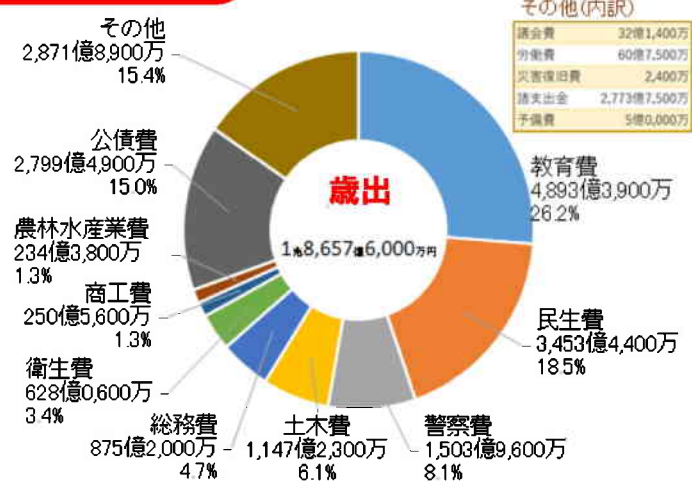
全会計合計 3兆3,926億2,570万3千円

(前年度比+23.9%)

## 平成30年度 一般会計(当初) 予算



地方譲与税	1,067億9,500万円
地方特例交付金	41億9,600万円
交通資金交付金	16億8,700万円
分担金及び負担金	28億4,700万円
使用料及び手数料	287億2,600万円
財産収入	156億2,700万円
寄付金	1億2,400万円
繰入金	873億4,600万円
繰越金	5億0,000万円
諸収入	345億9,800万円



議会費	32億1,400万円
労働費	60億7,500万円
災害復旧費	2,400万円
繰入金	2,773億7,500万円
予備費	5億0,000万円

## 新年度予算、未来を切り開く施策を重視





3月20日 予算特別委員会総括質疑

平成30年度の予算を審査する予算特別委員会は、3月9日から6日間の部局別審査と20日の総括質疑の二段構えで行われました。自民党県議団では、部局別審査を、各委員長を中心とした委員が担当し、各部長との一問一答方式で行い、総括質疑の上田知事との一問一答は私達3期生が担当しました。その3期生で委員を務めたのは、田村政調会長と私で、私は、70分の時間をいただき、「2次医療圏から見た医療の充実」や「小規模企業の事業継承などを含めた経済状況」などの6項目について知事に質しました。特に、医療の充実では、「私達の県央医療圏にある、県立がんセンターと県立リハビリテーションセンターは、県全体への専門医療を提供しているのに、2病院の病床を県央医療圏だけでカウントしているのは、地域医療の充実の観点から不整合ではないか？」との問いに、上田知事は、「検討に値する」と応じました。鴻巣の望む、地域医療確保へのチャンスにつなげていく様努力します。

予算特別委員会  
総括質疑

平成29年度制定 議員提案条例

6月	9月	12月
埼玉県虐待禁止条例	埼玉県自転車の安全な利用の促進に関する条例の一部を改正する条例	埼玉県小規模企業振興基本条例
2月	2月	2月
埼玉県犯罪被害者等支援条例	埼玉県民栄誉章等について議会の決議事件と定める条例	埼玉県主要農作物種子条例

**2月定例会で自民党県議団が提案  
県犯罪被害者等支援条例を制定**

思いがけず被害に遭った犯罪被害者やその家族は、直接的な被害に加え精神的な問題や経済的な問題、居住場所や雇用の問題など、さまざまな問題に直面します。犯罪被害者が再び平穏な生活を営むことができるようになるためには、社会全体がその立場に寄り添った支援を適切に行っていく必要があります。そこで自民党議員団では様々な施策を体系的に推進するための核となる条例を2月定例会で提案。多くの賛成を得て成立させることができました。




自由民主党議員団「犯罪被害者救済に関するプロジェクトチーム」の協議風景。

**埼玉県民栄誉章等について議会の決議事件と定める条例を制定**

この条例は、地方自治法第九十六条第二項の規定に基づき、埼玉県民栄誉章、彩の国特別栄誉章、及び彩の国功労賞について、その重要性に鑑み、議決事件と定めることにより、県民の総意として表彰することを明らかにし、もって県民意識の高揚に資することを目的とする。

知事は、埼玉県民栄誉章、彩の国特別栄誉章及び彩の国功労賞を贈呈するときは、あらかじめ、議会の同意を得なければならない。



**自民党県議団が提案、県種子条例を制定**

**米、麦、大豆の開発や  
安定供給継続へ!**

米、麦、大豆の優良種子確保を都道府県に義務づけてきた「主要農作物種子法(種子法)」が4月に廃止されることを受け、自民党県議団は種子の安定供給を継続するための条例を2月定例会で提案。全会一致で可決され4月1日からの施行が決まりました。

種子法は戦後、食料増産などの目的で1952年に制定。国や都道府県が稲、麦、大豆の種子の開発、供給を主導すると定め、低価格で農家に供給してきました。今回の国の廃止方針に対して、農家からは「安価で優良な種子の開発、供給に影響が出る」との懸念も出ていました。

条例は種子の原種を生産し生産団体に供給することなど、これまでと同様の役割を県が担う内容となっています。これからも地域に選した種子の安定供給を確保し、安心・安全で良質な県産物の生産・供給を図ってまいります。



平成30年度所属委員会等




特別職(埼玉県任命)	埼玉県監査委員
常任委員会	総務県民生活委員会委員
特別委員会	公社事業対策特別委員会委員長
特別職	議会運営委員会委員
執行機関付属機関	国土利用計画審議会委員 社会福祉審議会委員
自民党議員団役職	幹事

**編集後記**

28年度の9月~12月も議会事務局の皆さんに氣遣われるほどの忙しさでしたが、この2月議会もとんでもなく忙しかったです。でも何だか忙しいのは性に合っているようです。まだまだ頑張れる気がします、これからもヨロシクお願いします。 慎一

**埼玉県防災学習センター  
“そなーえ”  
リニューアルオープン!!**

3月18日、新装なった埼玉県防災学習センターの関係議員内覧会にお邪魔した。愛称を「そなーえ」とした新施設は、多くの工夫が凝らされていて、かなり魅力度を上げたと思う。鴻巣の皆さんには必ずお訪ねいただきたい。是非どうぞ!





一般質問

答弁要旨

(質問項目抜粋しています)

特別支援教育の充実に  
ついて

Q 国の示す、平成32年度までの特別支援教員の免許取得保有100%に向けて、県教委としてどのように取り組むを進めていくのか。

A 小松教育長

現在、本県の特別支援学校の教員3620名のうち、2636名が免許状を保有しており、保有率は72.8%と、その向上が大きな課題でございます。

このため今年度は県主催の認定講習の講座数を増やすとともに、免許状取得に向けた単位習得状況調査を新たに実施いたしました。

県といたしましては、新たに実効性のある免許取得計画を策定するとともに、教員に対して効率的な免許取得に向けた働き掛けを強め、免許状保有率向上に向けて全力で取り組んでまいります。

『なかやしきの思い』  
新たな免許取得計画や、働



2月28日 一般質問登壇

きかけを強める動きには期待したいが、過去2年間で2.3%しか向上していない免許状保有率。特別支援教員としてベースの資格である免許取得、まさにはじめの一歩だと思ふ。今までにない積極的な取り組みが強く求められる。

自殺対策について

Q 今後の自殺者の削減に向けての大きな鍵となる、自殺未遂者対策の内、未遂から再企図へ至らぬよう相談機関へつなぐ工夫について、県としてどのように取り組んでいくのか。

A 本多保健医療部長

行政や支援機関であっても、本人や家族の同意なしに情報を相談機関と共有することは困難です。そのため、自殺未遂者やその家族が、悩みや心

の問題を相談できる場所などについて入院先で知ることができるよう、パンフレットなどを作成し、救急搬送先の病院においていただく予定です。また、県では、医療関係者や消防職員などを対象に、自殺未遂者への対応などについて研修を行うなど、今後も、自殺未遂者やその家族に適切に対応できるように、医療関係者や消防職員との連携強化に努めます。

『なかやしきの思い』

自殺者を本気で減らしていくとすると、自殺未遂者への対策を強力に進める必要がある。個人情報保護の理念

小規模企業の振興について

Q 本県の中・小規模企業振興の中心的施策、「経営革新計画承認制度」への取組が、今まで以上の効果をもたらすために、今後県としてどのように取り組んでいくのか。

A 渡辺産業労働部長

県では、多くの企業が経営革新に取り組むことが、県経済の底上げにつながると考え、承認件数の増加に努めています。また、各企業が計画に対する理解を深めるため、専門家の無料派遣なども実施しています。新年度においては、計画策定後の専門家派遣回数を300回増やし800回に増加しました。今後とも、経営革新企業のフォローアップを徹底し小規模・中小企業を支援して参ります。

『なかやしきの思い』

平成27年度までの計画終了企業への効果検証によれば、経営革新計画の求める、付加価値額年率3%上昇を達成できた企業は33%、経常利益の年率1%上昇を達成できた企業は43.8%に留まっている。数の増大を目指すだけでなく、県が責任をもって失敗の要因分析を図り、その分

析を共有する取り組みを行い、商工団体などがしっかりと伴走する環境を整えなければ、目標達成企業の増加は望めない、軌道修正が必要だ。

花き産業の振興について

Q ラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピックに向けた「花」の需要獲得に向けて、東京に隣接する本県の利点を生かし、どのように情報をつかみ、産地に提供していくのか。

A 篠崎農林部長

県では、オリンピック・パラリンピックの会場設計者などを産地に招き、生産者との情報交換会を開催しています。この中で、設計業者から、「大量の発注に対して産地が対応できるか？」などの声が出ています。そこで、県では関東農政局と連携し、設計業者、施工業者などの実需要と生産者、流通業者等の関係者



中屋敷 慎氏 (農林部長)

【質問】全国屈指の花の産地である鴻巣市をはじめとする県内の花産地は、高い技術を持つている。ラグビーワールドカップ2019や東京2020五輪・パラリンピックなどが開催される運びとなり、会場周辺の装飾に花や植木の需要が生まれると地元では大々期待されている。ビッグイベントは花の需要を拡大できる千載一遇のチャンスと考える。五輪・パラリンピックに向けた花の需要拡大・振興の県の取り組みはどのような成果を上げ、東京に隣接する本県の

五輪で花需要の拡大を

【篠崎農林部長】東京五輪・パラリンピックは夏に開催されることから、豊かに強い花苗の需要が期待されているが、県内の産地は秋から春にかけての出荷が中心。県では昨年度から県内の生産者が夏に適した品目や植木の提案・実証を行う「夏花産地提案プロジェクト」を実施している。東京に近い優位性があり、関係者に産地を積極的に見せたい。高品質の花苗を知ってもらいたいことが可能。県では関東農政局と連携し、(会場)設計業者などの実需要と生産者、流通業者などの関係者を集め、花需要に関する情報共有の場を設ける。商談会などで生産者・実需要者のマッチングを支援し、花の需要獲得に向け、産地に兵に取組んでいく。

『なかやしきの思い』

を集め、花需要に関する情報を共有の場を設けることにしました。この中で得られた、品目や需要量などの情報を迅速に産地に伝えていきます。そして、商談会の開催などを通して、生産者と需要者のマッチングを支援していきます。

地元の基幹産業である「花」にまつわる関係者の皆さん、バブルがはじける前は本当に絶好調でしたよね。長い景気低迷の流れの中で、なかなかその頃のような花の需要は喚起されていないようです。二つのビッグイベントにしっかりとコミットすることで、その後の花需要も拡大される方向へと動かしていきたいかなければなりません。生産が得意な生産者の皆さんも、マーケティング戦略に関しては、決して得意ではないという生産者、マーケティングに関して

は、県を中心とした公が担っていく。こんな取り組みができたら、「餅は餅屋」、もっと上手いきそうな気がするんだけどなあ。

3月1日 埼玉新聞記事「県会一般質問から主なやりとり」より

A 西成県土整備部長

県では、右折帯がなく、朝夕の通勤通学時間帯を中心に交通渋滞の発生する宮地交差点に、平成25年から右折帯を設置し歩道を拡幅する事業を進めてきました。平成29年度からは、まとまって用地が確保できた交差点部の工事に着手しました。また、平成29年12月には、該当用地全ての取得契約が完了しました。今後とも、地元の皆様のご協力をいただきながら、平成30年度内の完成を目標に工事を進めて参ります。

『なかやしきの思い』

平成25年から5年を経過してやっと完成の目途が見えてきた宮地交差点の整備。沿線の鴻神社側市道の事業進捗にタイミングを合わせて事業を進めてもらうため結構無理を言ってきたが、何とか着地点が見えてきた。地域の皆さん、施工業者の皆さん、交差点に助力くださった市行政の皆さん、全てに感謝です。これで何とか、タイムラグを最小に抑えられるのではと安堵しています。スムーズに右折帯が曲がっていく宮地交差点。待ち遠しい限りです。



宮地交差点 4月12日現在



# 平成30年度当初予算 皆さまと県政をつなぐ架け橋として全力 注目すべき主な施策

## スマート社会へのシフトと地域活性化

### AI・ロボットなど先端技術活用による生産性向上

- 新規** AI活用による産業の高度化支援……………約1億1,500万円
  - AIを活用した工場内故障診断システムの開発
  - AIを活用した医療機器等の開発・実証の支援
  - AI活用で産業をリードする若手技術者の育成支援
- 新規** 中小企業へのAI活用支援……………約1,100万円

### 新たな産業の育成と企業誘致の推進

- 拡充** 農大跡地への成長産業の集積……………約99億7,100万円
  - 農大跡地(約39.2ha)に先端産業・次世代産業等を集積するため、まず北側産業用地(13.6ha)へ成長産業を誘致
  - LPWA通信を活かしたIoT化の促進をはじめ地域未来投資促進法や国家戦略特別区域法の活用を検討
- 拡充** 新たな産業団地の整備……………約108億3,700万円
  - 既存工業団地の拡張によってスピード整備(行田富士見地区、嵐山花見台地区)
  - 企業ニーズを整備設計に反映させた「エントリー&オーダーメイド」団地を埼玉のスタンダードに(松伏・田島地区、川越増形地区)

### 埼玉版スマート農業の推進

- 新規** AI・ドローン等を活用した農業の生産性向上支援……………約1,300万円
  - AIの活用＝ナシの摘果対象を表示するメガネを開発し、経験の少ない人でも熟練者と同様に摘果できる仕組みを実現
  - ドローンの活用＝ドローンでほ場内を撮影し、生育状況をマップ化して最適な栽培管理を実現
  - ビッグデータの活用＝精度の高い病害虫発生予察ツールを開発し、予察情報を県内生産者へ提供



### 行政のスマート化の推進

- 新規** 業務へのAI導入……………約8,000万円
- 新規** ビッグデータを活用したプッシュ型サービスの提供……………約3,300万円
- 新規** AIを活用した救急相談の拡充……………約5,000万円
  - チャット形式の救急相談機能を整備
- 新規** 高度分析システムの整備(県警察本部)……………約4億4,700万円
  - 被疑者の早期特定・検挙及び抑止力の強化を図るため、高度分析システムを整備

### 商店街活性化を強化

- 新規** NEXT商店街プロジェクトの推進……………約7,900万円
  - 「チーム寄添者(よそもの)」による商店街の応援体制を構築し、ビジョンにもとづく集中支援を実施。コンペによる空き店舗リノベーション等の活用アイデアの普及を図る

## 誰もがチャンスを手に行ける埼玉へ

### 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援の充実

- 拡充** 結婚を希望する未婚者への出会いの機会を支援……………約3,300万円
  - 市町村・企業・NPO・民間団体等による協議会を立ち上げ、AIを活用したマッチングシステムを構築・活用し、結婚支援事業を県内全域で展開
- 拡充** ウェルカムベイビープロジェクトの推進……………約1億7,500万円
  - 夫婦そろっての不妊検査に係る費用の助成
  - 早期不妊治療を促す上乗せ助成 ● 不育症に係る検査費用の助成等
- 新規** 小児・AYA世代における妊孕性の温存支援……………約2,100万円
- 拡充** 保育所待機児童対策の推進……………約29億7,200万円
  - 認可保育所・認定こども園、小規模保育事業所等の整備推進
  - 7500人の保育サービス受け入れ枠を拡大
- 拡充** 保育士の人材確保の促進……………約2億7,600万円
  - 保育士・保育所支援センターの機能強化による多様な保育人材の掘り起こし
  - 人材確保等に関するアドバイザーによる働き方改革の推進

- 新規** 希望時期入園制度の導入……………約3,700万円
  - 保護者が希望する時期に保育所等に入園できる仕組みを設ける市町村に対する助成
- 拡充** 私立学校における教育費負担軽減のための助成……………約125億2,700万円
  - 県内私立高校生と大学生等を3人以上抱える多子世帯への授業料補助を年収約720万円未満世帯まで拡大

### 子どもの貧困解決めざす～貧困の連鎖解消へ～

- 拡充** 生活困窮世帯及び生活保護世帯の子どもへの学習指導等……………約1億7,600万円
  - 小学校3年生以上に対して学習支援や生活支援を実施
  - 県が設置する全ての中学生教室に高校生教室を併設
- 新規** 県営住宅を活用した子どもの居場所づくり……………約2,400万円
  - 団地自治会による遊び場やNPO等による食事提供の場など子育て支援に活用するため、県営住宅の集会所を改修
- 新規** 子どもの貧困に関する実態調査の実施……………約1,000万円

### シングルマザー支援の推進～貧困の連鎖解消へ～

- 新規** シングルマザーなど女性の就業支援……………約3,200万円
  - 緊急に就業を希望するシングルマザーを対象に個別相談窓口を設置等
- 新規** 女性の貧困問題への支援……………約900万円
  - シングルマザー等を対象にした講座や、女性の貧困問題解決に向けた地域活動を行う女性リーダーの育成講座を実施
- 拡充** ひとり親家庭に対する徹底支援……………約1億3,100万円
  - ひとり親に対する就業相談や経済的支援の実施 ● 資格取得支援講座等の実施
- 新規** 仕事と生活の両立を支援……………約700万円
  - 仕事と介護・子育て・病氣治療の両立を支援する相談・情報提供窓口の設置

### シニアの活躍を応援

- 拡充** 働くシニア 応援プロジェクトの推進……………約3億9,900万円
  - 現役・元サラリーマンへの集中的なアプローチを展開 ● 企業における「活躍の場」の拡大 ● シニアへの就業支援等
- 拡充** アクティブシニアの「地域デビュー」の推進……………約7,600万円
  - シニアの関心を惹きつける戦略的なPRの実施等

## 国際的イベント開催に向け埼玉の魅力PR

### ラグビーW杯・オリンピックで地域活性化

- 拡充** ラグビーワールドカップ2019……………約53億6,100万円
  - 施設環境等の整備(熊谷ラグビー場の整備、熊谷スポーツ文化公園の整備、会場周辺道路の整備)
  - 気運醸成(カウントダウンイベント・新熊谷ラグビー場こけら落とし等開催、メディア告知やSNSによる情報発信、ボランティアの募集など)
- 拡充** 東京2020オリンピック・パラリンピック……………約27億4,200万円
  - 施設環境等の整備(さいたまスーパーアリーナの整備、埼玉スタジアム2002の整備)
  - 気運醸成(2年前イベントの開催、子ども向け競技体験キャラバンの実施、埼玉WABI SABI大祭典2018等の開催、ボランティアの募集、ホームステイ運営体制の整備など)



3月20日予算特別委員会。2名の自由民主党議員団代表が知事への総括質疑をしました。